

アクション・京都 NEWS



3月19日演説会&デモ400人 「9条改憲阻止・辺野古基地建設強行反対・自衛隊へ個人情報わたすな」と訴え



3月19日「安保法制廃止をめざす市民アクション@きょうと」が呼びかけ、「戦争をさせない1000人委員会京都連絡会」「京都憲法共同センター」が共同し「演説会(スピーチ)&デモ」を開催、400名が参加しました。わたし達の3000万署名や活動により、安倍首相の改憲発議を現在まで避止しています。国民の世論は「改憲は優先課題とは考えず、介護や福祉の充実を求める」の回答が多数を占め、この世論が改憲策動を困難にしています。これに対して、安倍首相は各小選挙区支部に推進体制を作るよう指示。自衛隊の隊員募集に関わって地方自治体が個人情報の提供も含めた協力をしない事を敵視、「だから憲法に自衛隊を記載しなければいけない」と発言、個人の職業選択の自由も個人情報の保護も地方自治体も自衛隊の下に置く、安倍首相がねらう改憲の姿を示しています。

スピーチには、沖縄から県民投票に参加した若者が参加、「辺野古の基地建設反対の県民の意思を無視して、建設を強引に進める政府の民主主義蹂躪に反対し、本土でも共にたたかきましょう」と訴えました。市民アクションからは自衛隊への個人情報提供に反対する、「プロテクト・アワ・プライバシー」の19歳の青年が「市民のための市政を進めるべき京都市が、個人情報を守るのではなく、自ら情報提供しようとしているのはいったいどうなっている

のかと憤りを感じた。仲間と声をあげたい」と訴えました。その後、市民の会の呼びかけ人の石田さん、山科アクションの松本さんが京都市の自衛隊シール提供問題について「市民を守らない姿勢に抗議の声を広げようと」スピーチ、憲法共同センターから新婦人の森下さんが「府会・市会の議会に国連の核兵器禁止条約に賛同を、日米地位協定見直しを求めて、請願を出したが否決された。平和の願いを届ける議席増が必要だ」と訴えました。

自衛隊に勝手に情報流すな！と 青年がラインなどでつながり呼びかけ 24日100名が情報提供停止求めデモ！

京都市が自衛隊に18歳と22歳の市民の宛名シールを渡そうとしている問題で、青年や市民ら100人が市役所前に集まりサウンドデモ！を開催しました。保護者や市民らの抗議が続く中、当事者の青年が直接声をあげました。

呼びかけはラインなどで繋がった青年が立ち上げた「Protect Our Privacy」です。安保法制の強行後、自衛隊が「戦場で殺し、殺される」危険が高まっています。その危機感や少子化の中、自衛隊の入隊希望が減り続けています。これを打開しようとする安倍政権の動きに連動し、自治体が青年の名簿を勝手に自衛隊に渡すことは許されません。

すでに12人の青年が名簿掲載の停止請求をし、請求した人の名簿は提供しないことになりました。声をあげれば、戦争に協力する自治体の姿勢を変えられます。「国いいなりの自治体で、ほんとうに市民を守れるの？」の声を広げましょう。地方選挙でも争点にして多くの市民に知らせましょう。

【日程 4月】

19日(金) 定例「19日行動」 午後6時30分～ 京都市役所前
24日(水)「アクション・京都 決起集会」 午後6時:30分開始
場所: ハートピア京都 “参院選で、安倍改憲ノーを実現しよう!”



発行:「安倍9条改憲 NO! 全国市民アクション・京都」

連絡先: 〒612-8081 京都市伏見区新町11丁目365 憲法9条京都の会

FAX 075-603-8135 メール action.kyoto@gmail.com

振込口座(ゆうちょ銀行)全国市民アクション・京都 (番号)00960-5-173844